

資料提供
 令和5年6月30日
 課名 新型コロナウイルス感染症対策担当
 (感染症・疾病管理センター)
 担当者 西川
 電話(直通) 082-513-3068
 (内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

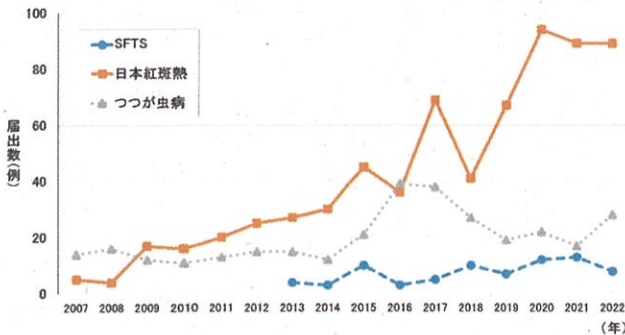
(令和4年6月解析分)

1 今月のトピックス

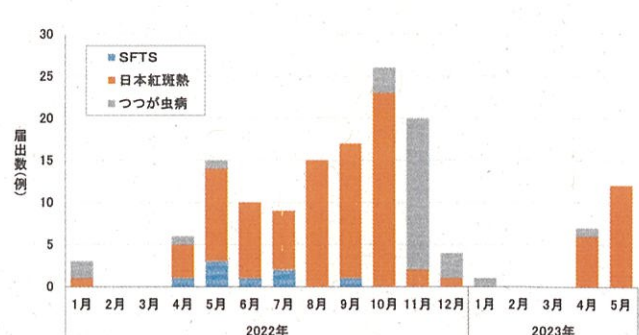
■ ダニ類媒介感染症の流行時期です！マダニに咬まれないよう注意しましょう！！

気温の上昇とともにマダニの活動が活発になり、春から秋にかけてダニ類媒介感染症の発生が増加しています。中でも、マダニが媒介する日本紅斑熱の届出が年々増加傾向で、今年も5月末時点で18例確認されています。農作業や山菜等の採取をされた60歳以上の方が多く感染しています。草むらや藪に入るときには、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

マダニ等が媒介する感染症の年別発生状況 (広島県)

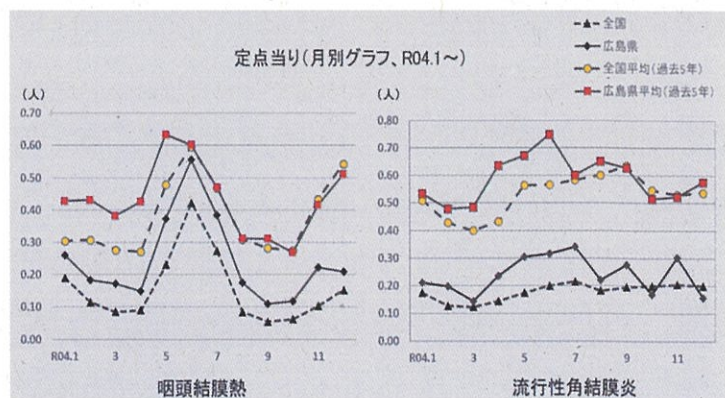


マダニ等が媒介する感染症の年別発生状況 (広島県)



■ 夏期はアデノウイルスが原因の感染症が流行する時期です

咽頭結膜熱(プール熱)、流行性角結膜炎(はやり目)などは、アデノウイルスの感染によって引き起こされる感染症です。通常、夏期に地域全体で流行し、5月頃から徐々に増加しはじめ、6～9月にピークを形成します。広島県においては、令和5年6月1日に、「咽頭結膜熱警報」を発令しました。これらの感染症は、感染力が非常に強いいため、夏期の連休等で外出する機会が増える際は、注意が必要です。



■ アデノウイルスの特徴と感染症を予防するには？

【特徴】 51種類の血清型および52型以降の遺伝子型があり、A～Gの7種類に分類される。多くのアデノウイルスの体内潜伏期間は5～7日である。

【主な病態】 咽頭結膜熱、流行性角結膜炎、感染症胃腸炎、急性呼吸器感染症など



1. 感染者との密接な接触は避け、『石鹸を使用した手洗い』、『うがい』を行いましょう。(アデノウイルスは、アルコールによる消毒効果は、弱いです)
2. プールや温泉施設を利用する際は、前後にシャワーを必ず浴び、タオルの共用は、避けましよう。
3. ドアノブや手すり、イス、机など、人が良く触れる箇所を清潔に保ちましよう。



広島県 感染症発生状況

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和 5年 5月分(令和5年5月1日～令和5年6月4日:5週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	1,282	2.29	0.08		11	ヘルパンギーナ	224	0.63	0.14	
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	1,122	2.00			12	流行性耳下腺炎	7	0.02	0.11	
3	RSウイルス感染症	823	2.31	0.38		13	急性出血性結膜炎	1	0.01	0.01	
4	咽頭結膜熱	500	1.40	0.53		14	流行性角結膜炎	55	0.58	0.54	
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	500	1.40	1.10		15	細菌性髄膜炎	3	0.03	0.01	
6	感染性胃腸炎	1,693	4.76	4.75		16	無菌性髄膜炎	3	0.03	0.00	
7	水痘	37	0.10	0.14		17	マイコプラズマ肺炎	1	0.01	0.02	
8	手足口病	40	0.07	0.38		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	伝染性紅斑	2	0.01	0.09		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.02	0.37	
10	突発性発しん	82	0.23	0.37		※1 第19週(5/8～)からの数値です。					

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和 5年 5月分(5月 1日～5月 31日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	83	3.61	2.86		24	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	61	2.90	2.81	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	26	1.13	0.87		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	3	0.14	0.14	
22	尖圭コンジローマ	25	1.09	0.74		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.01	
23	淋菌感染症	39	1.70	1.16		※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

- 急増疾患 RSウイルス感染症 (0.90 → 2.31)
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (0.61 → 1.40)
手足口病 (0.03 → 0.11)
ヘルパンギーナ (0.28 → 0.63)
- 急減疾患 なし

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5～2の増減
微増減			1:1.1～1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象18疾患, 月報対象7疾患)について, 県内178の定点医療機関からの報告を集計し, 作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～11	12, 13	19～22	14～18, 23～25	
定点数	41	71	19	23	21	175

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	35	結核(35)〔西部保健所(4), 西部東保健所(2), 東部保健所(11), 広島市保健所(15), 呉市保健所(1), 福山市保健所(2)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(2)〔福山市保健所(2)〕
四類	18	E型肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 日本紅斑熱(12)〔東部保健所(9), 福山市保健所(3)〕 レジオネラ症(5)〔広島市保健所(3), 福山市保健所(2)〕
五類	52	ウイルス性肝炎(1)〔広島市保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(4)〔西部東保健所(1), 北部保健所(1), 呉市保健所(2)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(4)〔西部保健所(3), 広島市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔広島市保健所(2)〕 侵襲性インフルエンザ菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(34)〔西部保健所(2), 広島市保健所(23), 呉市保健所(1), 福山市保健所(8)〕 百日咳(4)〔西部保健所(3), 広島市保健所(1)〕
新型コロナウイルス感染症等※2	2,091	新型コロナウイルス感染症(2,091)〔広島市保健所(935), 呉市保健所(119), 福山市保健所(251), 西部保健所(338), 西部東保健所(177), 東部保健所(216), 北保健所(55)〕

※2 新型コロナウイルス感染症(covid-19)は第18週(5/1～5/8)の発生状況となります。